

口腔組織学

講 師	森 石 武 史	実施時期 単 位 数	第 1 学年後期 1 単位 (20 時間)	実務経験	—
一般目標 (GIO)	歯と歯周組織の成り立ちを理解するために、歯と歯周組織の発生、および構造と機能に関する基本的知識を修得する。				
授 業 概 要	歯と歯周組織の発生・構造・機能について学ぶ。 主に光学顕微鏡で見た歯の発生過程と歯牙の構造、およびそれを支える周囲の組織構造について実際の顕微鏡像を見せながら解説する。				
学 習 方 法	講義				
成績評価の方法	国家試験問題形式の筆記試験(100%)で評価する。				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版				
履修上の注意	歯科衛生士の業務においても、歯と歯周組織の内部構造を知っておくことは重要です。 各回の内容の予習・復習を行い、理解を深めてください。				
参 考 書	口腔の発生と組織 改訂5版 田畑純(著) 南山堂 *より深く学びたい人はぜひ読んで下さい。				
教員の職務経験 (科目との関連性)	長崎大学歯学部で、2年生に発生学・組織学および同実習を講義し、3年生に口腔組織学および同実習を講義している。それらの経験を生かし、歯と歯周組織の成り立ちを理解するために、歯と歯周組織の発生、および構造と機能に関して講義を行う。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1	口腔組織学概論 エナメル質の構造と機能 I	口腔組織学とは何かを説明できる。 エナメル質の基本構造を説明できる。
2	エナメル質の構造と機能 II	エナメル質の組織学的構造と機能を説明できる。
3	象牙質・歯髄の構造と機能 I	象牙質・歯髄複合体の基本構造を説明できる。
4	象牙質・歯髄の構造と機能 II	象牙質・歯髄の組織学的構造と機能を説明できる。
5	セメント質・歯槽骨・歯根膜の構造と機能 I	セメント質と歯槽骨の組織学的構造と機能を説明できる。
6	セメント質・歯槽骨・歯根膜の構造と機能 II	歯根膜の組織学的構造と機能を説明できる。
7	歯肉・口腔粘膜の構造と機能	歯肉と口腔粘膜の組織学的構造と機能を説明できる。
8	顔面と口腔の発生	顔面の発生および口腔の形成を説明できる。
9	歯と歯周組織の発生 I	歯と歯周組織の初期発生を説明できる。
10	歯と歯周組織の発生 II	歯と歯周組織の後期発生を説明できる。